

ゴム床タイル（プラート・プラート F）の施工

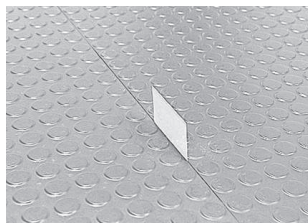
施工上の特性

- ◎ゴムに弾力性があるため、詰め加減が分かりにくく、きつめ施工になりやすいのでご注意ください。
- ◎材質がゴムのため、以下の点に注意してください。
 - 粘力があり切りにくい。
最後まで切るには、厚さの半分までカッターを入れた後に折り曲げて再度カッターで切る方が良い。
 - 熱を加えてもやわらかくなりにくいので、下地になじみにくい。
 - 接着剤の溶剤や下地湿気を吸収しにくい。
- ◎温度変化による寸法変化が大きいためご注意ください。

施工手順

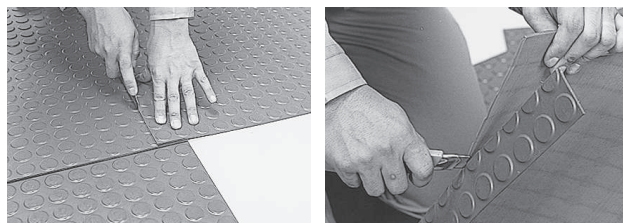
- 1 貼り方向、取り合わせを検討の上、割付けし基準線を設けます。（P.42参照）
- 2 基準線で仕切られた1/4面に、中心から接着剤を塗布します。
- 3 所定の待ち時間を取り、目地ズレのないように圧着しながら貼り広げていきます。

材質的に寸法変化が生じやすいので荷重を加えながら貼付けます。



少しゆめめにタイルを貼付けます。
タイル間は名刺一枚程度あけるようにします。

- 4 壁際や柱回り、パイプ周囲などに貼るタイルは、合わせ切りで納めます。
スキ、浮きのないよう納まりよく切込み、ローラーまたはゴムハンマー等で圧着します。



切込みを行うタイルを一枚手前のタイルの上に正確にのせて合わせ切ります。

！ 注意

- 切り口が汚れている時やきつめの時はカッターなどで修正します。
- 壁際の切込みは、きつめに押込まないでください。
- 床材を接着剤で汚すことがあるので、壁際部分は周囲全体の切込みを行い、ゴムタイルが貼れる状態になってから下地に接着剤を塗布してください。

- 5 接着剤などによる汚れや不備な点がないかを確認し、接着強度が出るまで48時間以上養生期間をとります。必要に応じて養生シートで養生してください。（P.45参照）

！ 注意

- 自重でなじみにくいので、反り気味のところは接着強度が出るまで砂袋などを置いてなじませてください。